

5 不服申立ての状況

【不服申立ての状況】

[単位:件]

15年度からの繰越件数	16年度の諮問件数	平成16年度審査会処理件数			未処理の件数(諮問中)	却下	取下げ
		認 容	一部認容	棄 却			
18	56	3	7	16	41	0	7

注

- この表は、平成17年3月31日現在の件数です。
- 却下は、不適法により実施機関が審査会に諮問せず決定した件数です。

【不服申立ての処理状況】

[単位:件]

年度	前年度繰越件数	当該年度不服申立件数	当該年度諮問件数	処理件数				未処理件数 諮問中	取下げ	諮問なし
				認 容		棄却	却下			
				全部	一部					
2	0	6	6	0	2	1	0	3	0	0
3	3	1	1	1	1	0	0	2	0	0
4	2	7	7	0	1	4	0	4	0	0
5	4	5	5	0	0	2	0	7	0	0
6	7	7	5	0	3(2)	2	0	7	1	2
7	7	8	8	0	7(5)	1	0	7	0	0
8	7	12	12	0	5	2	0	12	0	0
9	12	22	21	2	5	2	0	24	0	1
10	24	18	18	4	13(12)	11	1	12	1	0
11	12	15	11	9	6	3	0	5	0	4
12	5	22	19	3	4	5	0	13	0	2
13	13	26	19	1	8	13	0	10	3	4
14	10	27	27	2	8	14	0	10	3	0
15	10	43	39	2	8	18	0	18	3	2
16	18	85	56	3	7	16	0	41	7	0
計	134	304	254	27	78(74)	94	1	175	18	15

注 1 平成元年以前については不服申立てはありませんでした。

2 「諮問なし」欄は、諮問前の取下げと実施機関による却下決定です。

3 ()内の数字は、答申数です。

内容が同一(類似)の事案で複数の不服申立て(諮問)がなされた場合には、ひとつの答申で答えることがあるので、不服申立ての件数と答申数は一致しません。

6 まとめ

平成16年度の開示請求状況は、公文書件数では前年10,162件を大きく上回り、20,569件となりましたが、延べ請求者数では62.6%増の6,891人で4年連続で過去最高となりました。このことは、情報公開制度がより多くの方に浸透していることの証左であると言えます。

また、平成12年度から受付を始めた電子メールによる請求が381件(前年度220件)となり、情報公開にも情報技術が活用されていることを示したものとと言えます。

開示請求の内容をみると、公共工事施工に関するもの、産業廃棄物処理に関するもの、一般廃棄物・産業廃棄物処分場に関するもの、新規飲食店等の許可状況や社会福祉法人等への監査結果に関するもの、県が実施する各種試験の試験問題に関するもの、訴訟に関するものなど、多種多様の請求があります。

営業目的などで利用するため、行政が保有している企業等の情報を得るような法人からの開示請求が3,966件(70.1%増)と法人からの開示請求は5年連続で大幅に増加しました。

県では、ホームページの活用をはじめ、さまざまな行政情報の提供を実施しているところですが、より一層行政資料の充実、インターネットへの情報掲載など情報提供の推進に努めていく必要があります。